

The 252nd Programming Deliberation Committee

第 252 回番組審議会 議事録

開催日 2021 年 9 月 28 日（火）

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、角田陽一郎委員、安藤美冬委員、吉田拓巳委員

1、

議題（審議番組）：佐藤満春のジャマしないラジオ

放送日時：毎週木曜 22:00 - 23:00

DJ：佐藤満春

会社からの説明

毎週1アーティストを特集していく邦楽音楽番組。時には音楽アーティストや芸人、タレントをゲストに招きながら展開していく1時間の生放送でお届けしている。番組自体は2020年4月からコロナ禍の中でスタート。DJは、ケイダッシュステージ所属のお笑い芸人コンビどきどきキャンプの佐藤満春さん。様々なテレビやラジオで放送作家、構成作家として活躍している。佐藤さん自身が音楽好きであり、多くのアーティストとも親交があり、特にお笑い芸人オードリーと同期という縁からオードリーが司会を務める、アイドルグループ日向坂46の番組にも出演しており、日向坂46ファンからの支持も厚い。8月からレック株式会社の提供番組として放送している。今回審議された放送回は「FUJI ROCK 2021」の特集回。

委員からの意見・感想

審議委員 A

フジロックの振り返りという特別な放送回だった。個人的には今年のフジロックは伝説的なものになったと感じていただけに、その様子を知ることができたのは非常に良かった。また、オンエアされたアーティストのライブ音源は、ステージ上の煽りも含めとても臨場感がありよかった。それもあって、ただの振り返りレポートとは違う濃い内容になっていたと思う。ただ、オープニングの内輪話は初見のリスナーには入りづらかった。

審議委員 B

とても楽しく聴けた 1 時間であった。コロナ禍でのフジロックの持つ魅力、ライブの熱狂がイヤホンを通じて感じられた。DJ である佐藤満春さんについては初めて知ったが、とても好感の持てる軽妙な語り口だった。笑いを挟みながら、リスナーとの距離も近く、自身が思い描くラジオの良さを感じた。最後まで楽しく聴かせてもらった番組だった。心が楽しかった。

審議委員 C

1 時間聴いていてとても親近感を抱いたが、初めて聴く側としては、オープニングの 5 分が既存リスナー向けの内容のようではなかった。後半から番組の空気感がつかめてきて、理解ができ、内輪ノリという感じも楽しめた。ラジオというのはこういうものかとも思った。普段の 1 組アーティスト特集も聴いてみたかった。今回フジロック特集であったのであれば、メールなども特集内容に合わせた方がよかったと思う。

審議委員 D

とても聴きやすい番組だった。タイトル通り、ジャマしない番組だったと思う。本人の音楽好き感がでていて音楽番組として良かった。この番組時間（番組尺）でフジロックを語るのは難しいので、2 時間ぐらいの特番でもよかったと思う。スポンサーのプレゼント告知も軽妙でよかった。DJ のキャラクターも良く、長く続いて欲しい番組だと思った。

審議委員 E

オープニングの内輪話がよく分からないので、新しいリスナーが入りにくいと思った。番組構成の基本をもう一度考えてみるのもよいかもしれない。また、全体的には面白く聞けたのだが、個人的には、野外ロックのラウドな音楽ばかりが続くと辛かった。一方で、DJ の佐藤さんは、常識人であり、仕事に対する誠実さも感じられ好印象だった。この番組は、DJ が人気キャラクターとしてファンやリスナーを増やしていく番組というよりも、ファンやリスナーと一緒にあってコミュニティを作り成長していくという、今の時代にあった新しい形の実験的な番組だと感じた。今後も注目したい。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上